

新しい年を迎えて



飛島村長
加藤 光彦

あけましておめでとございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、本村でも緊急事態宣言等の対象地域に指定されたことで施設の利用を制限する等、住民の皆さまの健康と安全を最優先とする迅速かつ柔軟な対応が求められた年になりました。

一方で、全国的に始まりました新型コロナウイルスの接種ですが、本村では、88・5%（12月8日現在）の方が2回目の接種を終えることができています。まもなく、3回目の接種が始まりますが、村民の皆さまが1日でもはやく、また、1人でも多くの方に接種していただけるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

また、昨年は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催される等、少しずつですがコロナ禍でも開催が可能な

イベントが増えてきています。本村でも、昨年度と同様に規模を縮小して開催したふるさとフェスタは、村民の皆さまのご理解とご協力のおかげで成功することができました。本年も開催が可能なイベントを検討し、積極的に実施できるように取り組んでまいります。

さて、本村では昨年からの最上位計画である第5次総合計画の策定に向けて取り組んでおります。とりわけ、職員は行政内部の視点にとどまることなく、住民の皆さまの目線で計画の策定に取り組んでいます。令和5年4月の計画完成に向けて、住民の皆さまのご理解をいただきながら、実効性のある計画を創り上げていきたいと考えています。

さらに、対外的な取り組みとして、昨年11月には様々な交流を行ってまいりました石川県輪島市との友好交流協定を締結しました。今後とも両市村および住民相互の友好関係を増進し、経済・観光・教育等の各分野で交流を行い「活気と魅力のある村づくり」を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から間もなく2年が経過しようとしております。感染者数は落ち着きつつありますが、いつ第6波が到来するかわからない状況にあります。気を緩めることなく引き続き感染予防の徹底をお願いいたします。

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

いたします。本年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大を最小限に抑えるよう全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆さま方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年 元旦

あけましておめでとございます。

昨年は、オール愛知で一丸となつて、新型コロナウイルス感染症の「克服」に向けた取組を進めるとともに、ジブリパークの整備推進、愛知県新体育館、スタートアップ支援拠点「STARTIION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展など、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリード

していくためには、変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも取り組んでまいります。

今年7月には、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋には、ジブリパークの「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」が開業します。愛知の魅力を高める取組も着実に進めてまいります。

愛知県は今年、1872（明治5）年の誕生から150周年を迎えます。県民の皆様に、将来も愛知県に住み続けたいと思っただけでなく、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和4年 元旦